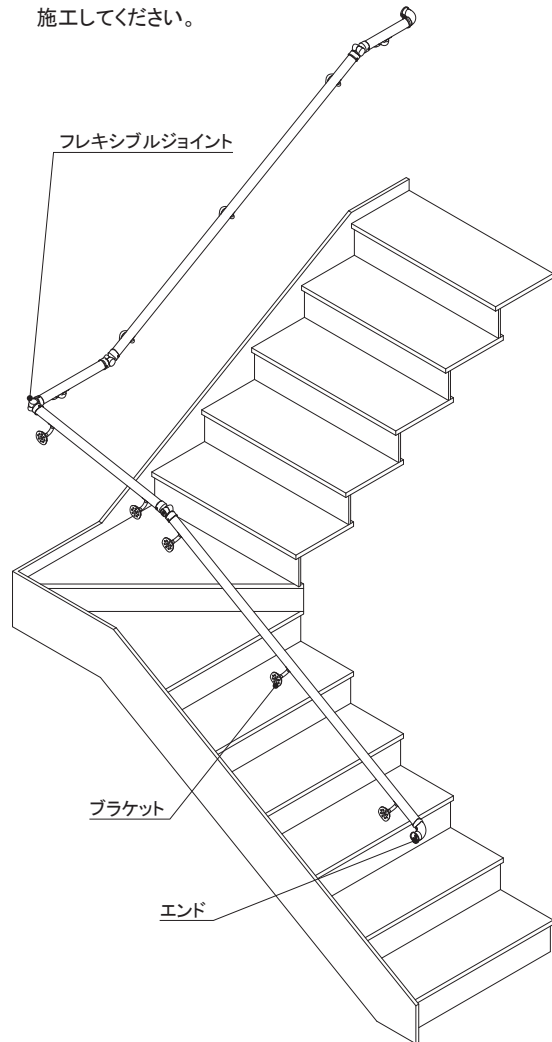


KH-63(階段手すり) 2/2

※必ず施工前にお読みください。本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

階段手すり姿図例

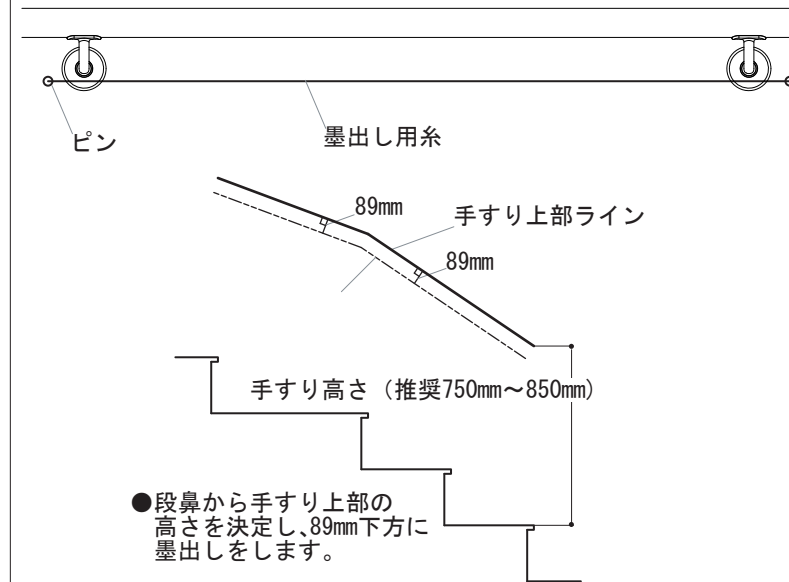
※階段手すりは階段の形状により取り付け方が変わりますが、施工方法は共通ですので下記施工方法を参照のうえ、施工してください。



施工方法(下準備)

①墨出し

- 手すりの高さを設定し、46mm下方に画鋸や風糸等を用いてブラケット取り付け位置を示す、墨出しをします。
- ※ブラケットを仮止め(手順②)した後は糸を抜き取ってください。

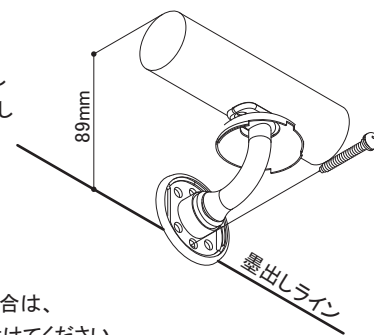


②ブラケット仮固定

- ブラケットのカバーを外し(カバー取外し方法参照)、下部ブラケット固定穴を墨出し位置にあわせ、1ヶ所ネジ止めし、仮固定します。

⚠ 警告

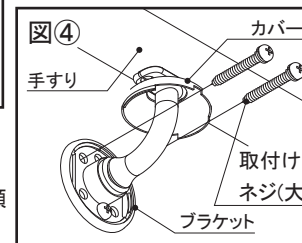
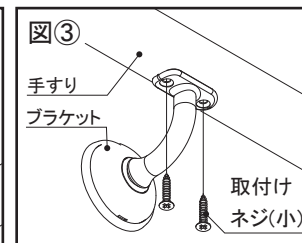
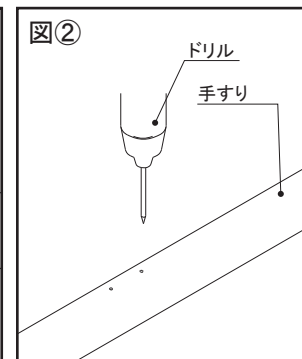
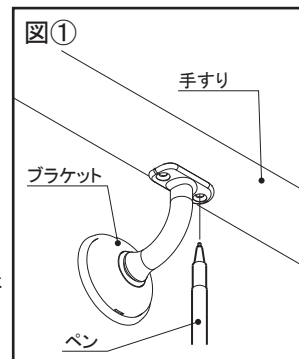
- ブラケット取付ピッチは800mm以内に
取り付けください。ジョイント類がある場合は、
金具から100mm以内にブラケットを取り付けてください。



施工方法(取付け)

③ブラケット固定

- 壁付け用ブラケット
- 壁に仮止めしたブラケットの上に手すりを乗せます。
- ※この時ブラケット受け座が手すりに密着するように、水平を調整してください。
- 手すりを取付けネジ(小)にて固定します。
- ①一度手すりの位置が決まったら下穴をあけるための印をつけてください。(図①)
- ②手すりをブラケットからはずし、印をつけた部分に下穴(約φ3mm)をあけてください。(図②)
- ③再度手すりをブラケットの上に乗せ、下から取付けネジ(小)にて固定します。(図③)
- ④カバーを外し、取付けネジ(大)にてブラケットを本固定します。

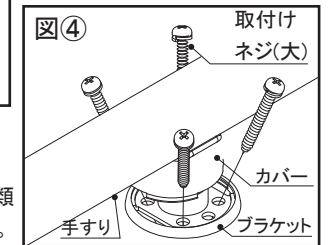
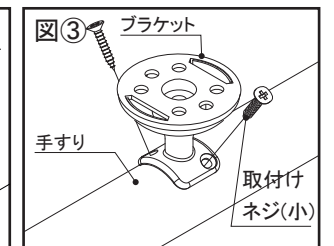
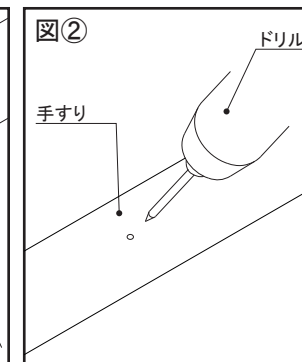
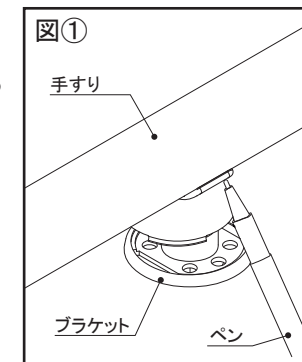


⚠ 警告

- ブラケット取付ピッチは800mm以内に
取り付けください。ジョイント類がある場合は、
金具から100mm以内にブラケットを取り付けてください。
- 必ず下穴(約φ3mm)をあけてからネジ止めしてください。材割れの恐れがあります。

●笠木付け用ブラケット

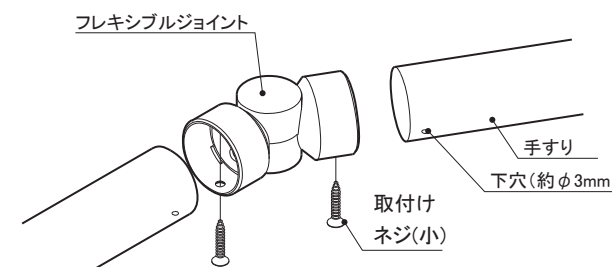
- ブラケットの上に手すりを乗せます。
- ※この時ブラケット受け座が手すりに密着するように、水平を調整してください。
- 手すりを取付けネジ(小)にて固定します。
- ①一度手すりの位置が決まったら下穴をあけるための印をつけてください。(図①)
- ②手すりをブラケットからはずし、印をつけた部分に下穴(約φ3mm)をあけてください。(図②)
- ③ブラケットを手すりの上に乗せ、下から取付けネジ(小)にて固定します。(図③)
- ④カバーを外し、取付けネジ(大)にてブラケットを固定します。(図④)



⚠ 警告

- ブラケット取付ピッチは800mm以内に
取り付けください。ジョイント類がある場合は、
金具から100mm以内にブラケットを取り付けてください。
- 必ず下穴(約φ3mm)をあけてからネジ止めしてください。材割れの恐れがあります。

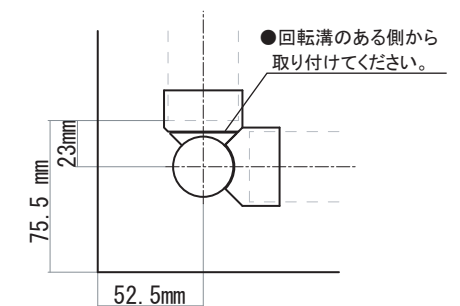
④フレキシブルジョイントの接続



- 手すりに下穴(約φ3mm)をあけます。
- フレキシブルジョイントと手すりを取付けネジ(小)で固定します。
- ※ネジ部は取り付け時に下側となるよう施工してください。
- ※「先」と印されている側から取り付け下さい。取付が容易となります。

⚠ 注意

- 手すりはジョイント奥まで差し込んだことを確認の
うえネジ止めしてください。



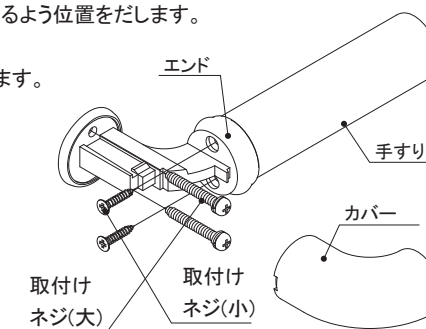
- 手すりはフレキシブルジョイント中心から23mm手前、
直角コーナーで使用する場合は75.5mm手前で手すりが
終わるようにしてください。

⚠ 警告

- フレキシブルジョイントジョイントを使用する場合、
両側100mm以内にブラケットを取り付けてください。
- 必ず下穴(約φ3mm)をあけてからネジ止めしてください。
材割れの恐れがあります。

⑤エンド取付け

- ①エンドを手すりにはめ込み、壁と垂直になるよう位置をだします。
- ②手すりに下穴(約φ3mm)をあけます。
- ③エンドと手すりを取付けネジ(小)で固定します。
- ④エンドを取付けネジ(大)で固定します。
- ⑤カバーをエンドにはめ込みます。



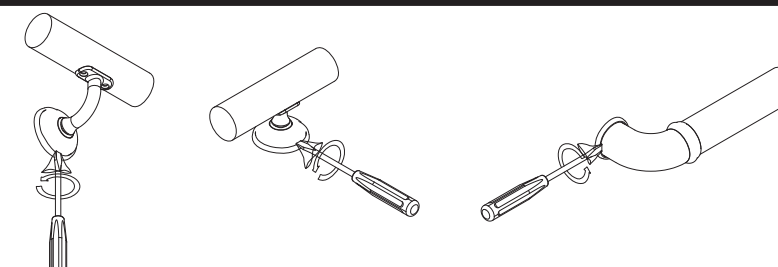
⚠ 警告

- 必ず下穴(約φ3mm)をあけてから
ネジ止めしてください。材割れの恐れがあります。

⚠ 注意

- 手すりはエンド奥まで差し込んだことを確認の
うえネジ止めしてください。
- エンドを単品で使用する場合は取り付け間隔
800mmを必ず厳守してください。
- 取り付け間隔が800mm以上になる場合は
ブラケットを間にはさみ、手すり取り付け間隔が
常に800mm以内におさまるようにしてください。

カバー取外し方法



- 各ブラケットは、図の部分に
柔らかい布を巻いたマイナスドライバーを
挿し込みカバーを取外します。

KH-63(階段手すり) 1/2

※必ず施工前にお読みください。本説明書は取付後も廃棄せずご使用者にお渡しください。
※工具が付属の場合は本説明書と共に必ずご使用者様にお渡しください。

安全上の注意 (必ずお守りください)

設置工事の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みになり、正しく設置してください。

■施工を誤った場合、使用者に生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

警告 この表示の欄は「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。	注意 この表示の欄は「傷害を負う危険が想定される場合または物的損害のみの発生が想定される」内容です。
---	---

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

禁止 この図記号は、してはいけない「禁止」の内容です。	強制 この図記号は、必ず実行していただく「強制」の内容です。
------------------------------------	---------------------------------------

警告 取付けに関する警告

強度のない壁・補強のない壁には取付けしないでください。製品が落下してケガをするおそれがあります。

- ※壁仕上げ前に固定ネジ用の12mm以上の裏板(合板等)を、あらかじめ設けてください。(15mm以上推奨)
- ※軽鉄への取付けは強度が不足する恐れがあります。必ず木材ネタで補強してください。
- ※ALC材・軽鉄・コンクリートブロックなどの中空部には取付けできません。

- 当製品は防水仕様ではありません。屋外や浴室など水がかかったり湿気が多い場所には設置しないでください。部品などの腐食により、製品が落下してケガをするおそれがあります。

- 取付け後、必ず製品が完全に固定されているかご確認ください。
- 固定が不完全な場合、製品のがたつきや、落下してケガをするおそれがあります。

- 仮固定作業中は施工場所周囲に防護柵等を施し、手すりが使用できないことを周囲に分かるようにしてください。
- ケガ、転落事故の原因となります。

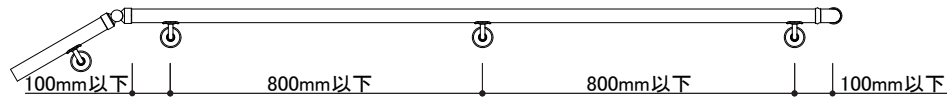
- 部材の固定は同梱しているネジを使用し確実に締め込んでください。
- ※材割れ防止のため必ず下穴をあけてから作業をしてください。

- 取付けの際、電動ドライバーのトルクを調節し、ビスを空転させないようにしてください。

- 部材の保管は、湿気や直射日光のあたるのあたる場所を避けてください。

- 木部に木工用ボンドが付着した場合、すぐに濡れたタオルで拭き取ってください。色ムラの原因となります。

図のように取付け間隔を厳守してください。手すりや本体が破損したり、接続金具がはずれ、ケガ、転落事故の原因となります。



- 手すり棒はφ35mmのタモ集成材等、手すりとして強度に耐えうる材質を仕様してください。(タモ集成材を推奨)

警告 ご使用に関する警告

- 用途以外のご使用はしないでください。破損してケガをするおそれがあります。

- 耐荷重以上の荷重を加えますと破損してケガをするおそれがあります。

- 製品に無理な力や強い衝撃を与えないでください。破損してケガをするおそれがあります。

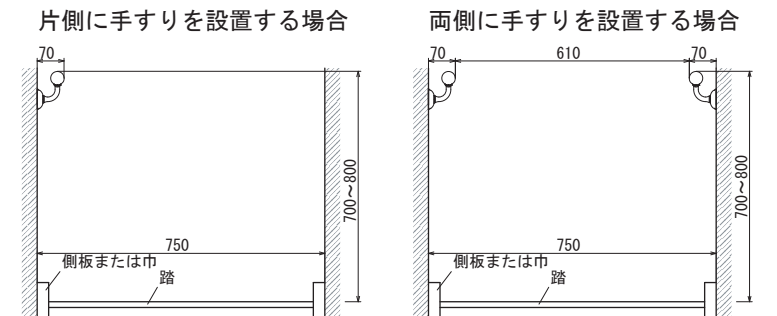
注意 ご使用に関する注意

- 化粧品や薬品が付着しない様にしてください。付着した場合はすぐに、完全に拭き取ってください。放置しておくとう変色や腐食、劣化して破損しケガをするおそれがあります。

- お手入れは乾燥した柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどい時は水、又は水で薄めた中性洗剤(5~10%程度)を含んだ布で拭き、乾燥した布で水分を拭き取ってください。ベンジン、シンナー、アルコール、トイレ用洗剤、防カビ剤、塩素系洗剤、酸やアルカリ性の洗剤、クレンザー等のご使用にならないでください。

手すりの位置について

- 図のように手すりの取付け高さは段鼻、床位置から700~800mmが一般的です。(使用される方の使いやすい位置に設置してください。)
- 階段有効幅は建築基準法に基づき、750mm以上確保してください。図のように片側へ取付ける場合、手すりの幅が100mm以内であれば階段有効幅の750mmに算入することができます。手すりを両側へ取付ける場合は、手すりの突間隔が600mm以上あることが必要です。(この場合でも階段自体の有効幅は750mm以上必要です)
- 手すりの取付け位置寸法を厳守してください。

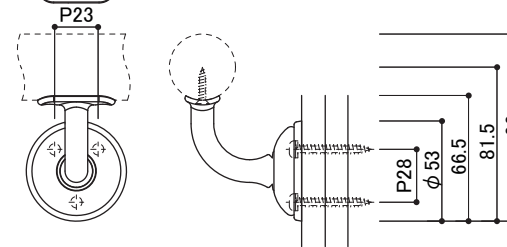


施工前にご確認ください

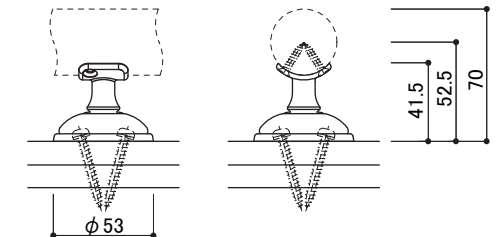
- 開梱したら、部材に損傷等がないかご確認ください。取付け後の損傷クレームについては責任を負えません。

製品仕様

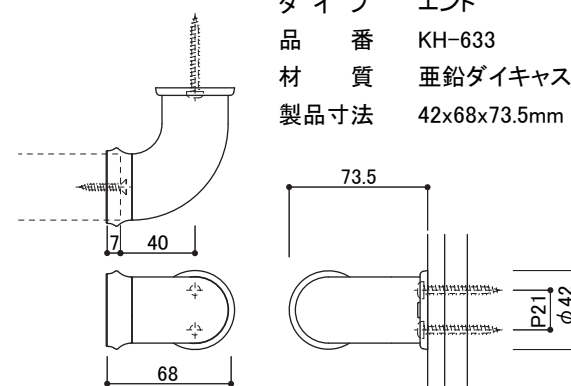
タイプ 壁付け用ブラケット
品番 KH-631
材質 亜鉛ダイキャスト+真鍮
製品寸法 53x66.5x61.5 mm



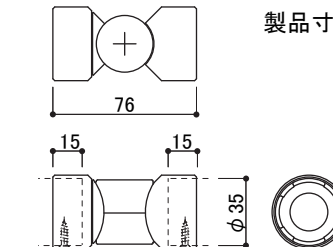
タイプ 笠木付け用ブラケット
品番 KH-632
材質 亜鉛ダイキャスト+真鍮
製品寸法 53x53x41.5mm



タイプ エンド
品番 KH-633
材質 亜鉛ダイキャスト
製品寸法 42x68x73.5mm



タイプ フレキシブルジョイント
品番 KH-375
材質 亜鉛ダイキャスト
製品寸法 35x35x76mm(KH-375)



総耐荷重 588N(60kgf)

同梱部品 (必ずご確認ください)

 KH-631 取付け ネジ(大)x3	 KH-632 取付け ネジ(小)x2	 KH-633 取付け ネジ(大)x2	 KH-375 取付け ネジ(小)x4
 取扱説明書 (本紙)x1	 取扱説明書 (本紙)x1	 取扱説明書 (本紙)x1	 取扱説明書 (本紙)x1